

少人数私募債とは？ 図解

[HOMEへ](#)

1.少人数私募債とは

- ①会社で社債を発行し、お金を集め運転資金・設備資金に充てる資金調達方法です。
(銀行借入れ・資本金の増資と同じ意味合いのものです)
- ②社債利息は、会社の経費となり又受取人の受取利息は20%の源泉分離課税で済みます。

2.節税対策としての活用

- ①次の条件に当てはまる人は、少人数私募債を節税として活用できます。

- ・所得税の税率が高い人
- ・会社にお金を貸している又は貸す理由がある場合

- ②個人が会社にお金を貸している場合、通常利息を取りません。

(理由)

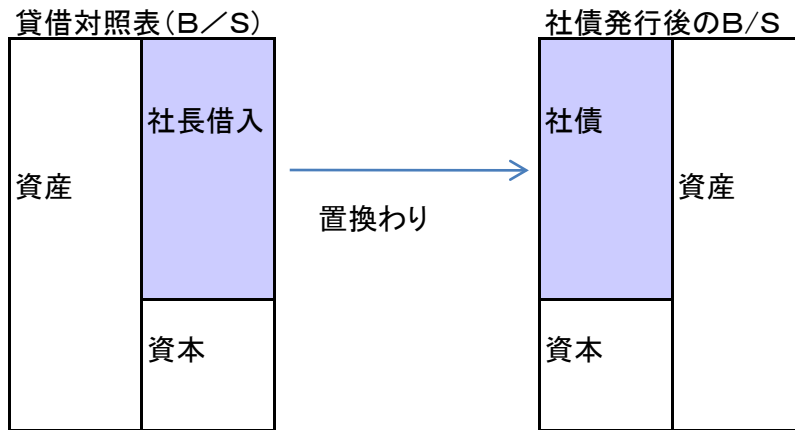
- ・確定申告が面倒
- ・貸付利息に対する税金が高い

- ③少人数私募債は、上記②のデメリットが解消されます。

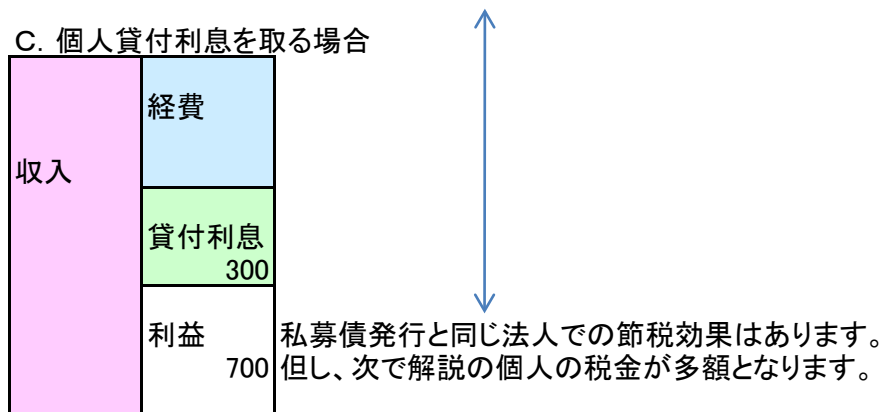
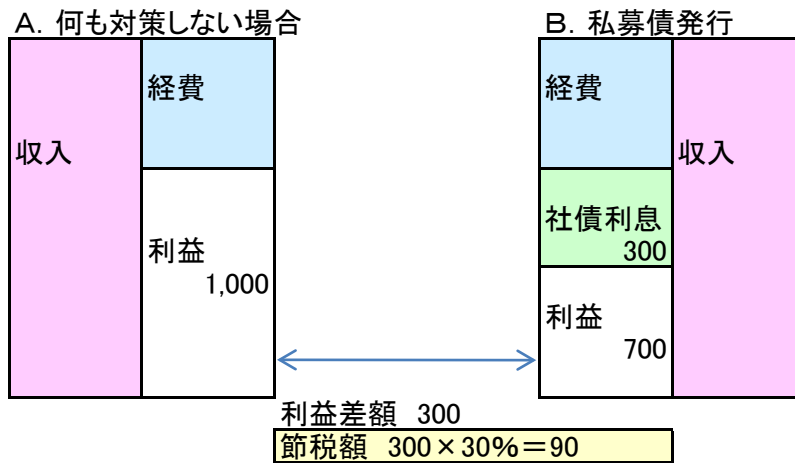
- ・確定申告は不要の源泉分離課税
- ・貸付利息に対する税率は20%(所得税15%+住民税5%)

3.発行会社での仕組み

①貸借対照表の流れ



②損益計算書は次のようになります。

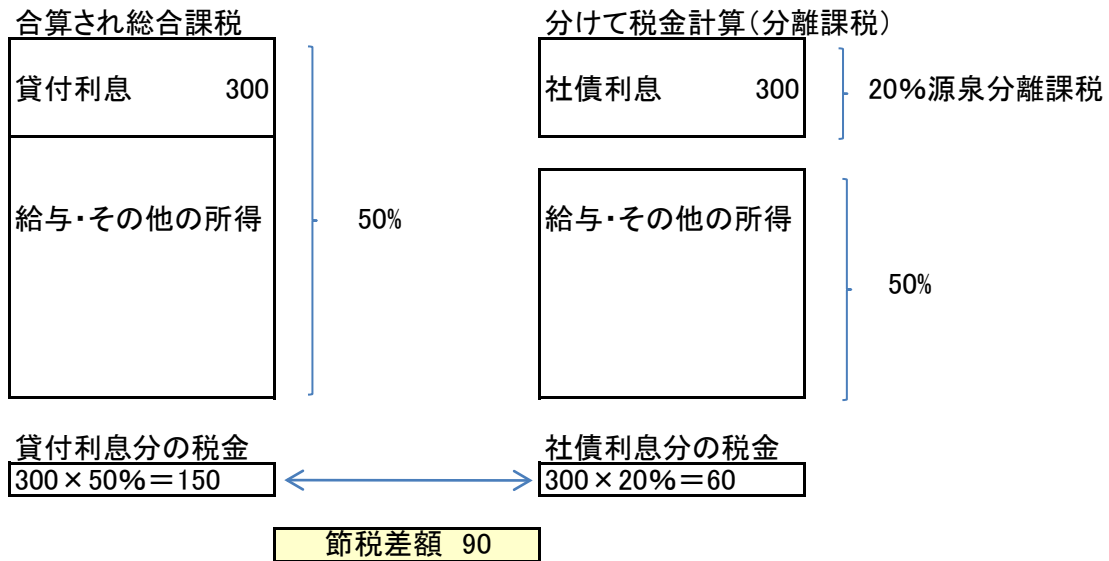


4.利息受取人 個人での節税

前提: 受取人個人は高額所得者で最高税率50%(所得税・住民税)が課税される人

①単に貸付利息で受取る場合
(上記3②Cのケース)

②社債利息で受取る場合
(上記3②Bのケース)

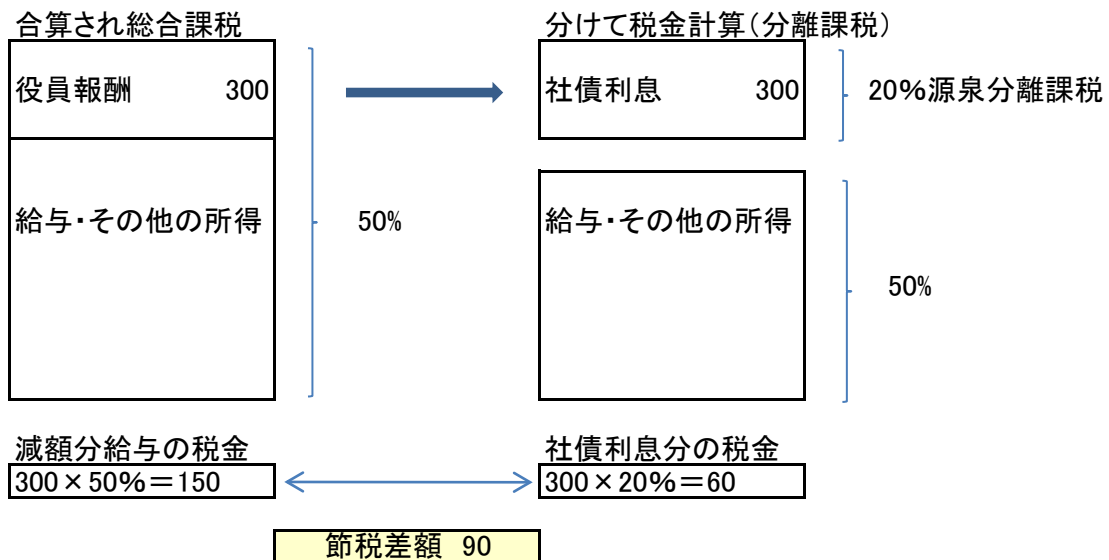


5.役員給与減額、その減額分を社債利息で受取る場合

上記ご説明では、貸付利息と社債利息を対比でご説明しましたが役員給与を減額し、その減額分社債利息を取るケースで見えます。

①給与をもらう場合

②給与でなく社債利息で受取る場合



さらに健康保険・年金等が安くなるケースもあります。